

北海道支部 2003年夏季研究発表会

主催 日本化学会北海道支部

共催 日本分析化学会・高分子学会・日本エネルギー学会・石油学会各北海道支部、
日本セラミックス協会・有機合成化学協会各東北・北海道支部、触媒学会北海道
地区

会期 7月19日(土)

会場 北見工業大学(北見市公園町165番地)

発表形式 講演は1件あたり討論、移動を含めて12分

A会場 - (9時30分から) -

A01 アルケニルボランを用いる(Z)-1,3-ビス(トリメチルシリル)-3-アルケン-1-インの
立体選択的合成とその応用反応(北見工大)○河村哲嗣、白川和哉、星 雅之

A02 アルケニルボランから誘導した末端共役エンインとハロゲン化物とのクロスカップ
リ
ング反応(北見工大)○中藪秀則、白川和哉、星 雅之

A03 IF_5 によるイオウ化合物の効率的ポリフッ素化(北大院工)○平松千春、阿由葉慎市、
福原 彊、原 正治

A04 (Z)- β -フルオロ- α , β -不飽和エステルの立体選択的合成(北大院工)○古俣 歩、
吉田雅紀、原 正治

A05 ベンジルモノヒドラゾンのハロゲンイオンをメディエーターに用いた間接電解(北見
工大)○沖本光宏、長田有司、末田 学、高橋行雄

A06 第三級芳香族アルコールのフッ素化反応(北見工大)○佐藤政徳、高橋行雄、沖本光
宏

A07 N,N-ジエチル- α , α -ジフルオロ-(3-メチル)ベンジルアミンを用いるジオールのフ
ッ
素化反応(北大院工)○米田篤史、福原 彊、原 正治

A08 2-(ヨードアルコキシ)テトラヒドロピラン類の環拡大反応(北大院工)○千葉正貴、
仙北久典、原 正治

A09 高活性イリジウム触媒を用いるジボロンと芳香族複素環のC-Hカップリング反応(北
大院工・エール大)○高城 淳、米川雄平、Hartwig J.F.、石山竜生、宮浦憲夫

A10 高活性イリジウム触媒を用いるピナコールボランとアレーン類のC-Hカップリング反
応(北大院工・エール大)○信田祐輔、Hartwig J.F.、石山竜生、宮浦憲夫

A11 イリジウム触媒を用いるジシランとアレーン類のC-Hカップリング反応(北大院工)
○西尾幸博、佐藤和聡、石山竜生、宮浦憲夫

- (13時から) -

A12 ジルコノセン-アルキン錯体と一酸化炭素との反応(北大触媒セ)○三刀静恵、李
艶
忠、高橋 保

A13 ジルコノセンを用いたチオフェンオリゴマーの合成(北大触媒セ)○周 欣、蔡 福
裕、高橋 保

A14 ハロアルケンとジルコノセンとの反応(北大触媒セ)○上田剛士、小笠原正道、高橋
保

- A15 ジハロジアリール化合物の合成（北大触媒セ）○永島理香子、家里篤史、李 艶忠、高橋 保
- A16 新規多置換芳香族化合物の合成（北大触媒セ）○鹿島桂一、菅野研一郎、高橋 保
- A17 電解調整活性亜鉛の生成挙動と高活性化（北大院工）○井上富男、黒野暢仁、徳田昌生
- A18 アミニルラジカルを用いる5-exo, 6-exoタンデム環化反応の環化効率および立体選択性の検討（北大院工）○三上純也、長谷川輝、黒野暢仁、折登一彦、徳田昌生
- A19 フェナントロインドリジジンアルカロイドの合成研究（北大院工）○山下智史、折登一彦、徳田昌生
- A20 高立体選択的 [5+2] 型付加環化反応による1-アセチル-2-シロキシシクロヘプタン誘導体の合成（北大院理）○前川秀樹、近藤文克、清水 忠、谷野圭持、宮下正昭
- A21 チランダリジジンの不斉全合成研究（北大院理）○岩田康弘、前川原直美、谷野圭持、宮下正昭

B会場

—（9時30分から）—

- B01 ロジウム触媒を用いた ω -ケトアルケニルボロン酸エステルの分子内付加環化反応（北大院工）山口健二、大村智通、○山本靖典、宮浦憲夫
- B02 カチオン性ロジウム触媒を用いるアリールボロン酸の不斉共役付加反応（北大院工）○糸岡 亮、宮浦憲夫
- B03 ロジウム-ホスホロアミダイト錯体を用いるアリールボロン酸のエノンへの不斉共役付加反応（北大院工）○杉下紀之、井口由紀、糸岡 亮、宮浦憲夫
- B04 カチオン性パラジウム触媒を用いるアリールボロン酸の共役付加反応（北大院工）○西形孝司、山本靖典、宮浦憲夫
- B05 ホスフォメタロセンの特異な反応性（北大触媒セ）小笠原正道、○葛 永輝、高橋 保
- B06 面不斉を有する架橋フェロセンの合成検討（北大触媒セ）小笠原正道、○坂本 猛、高橋 保
- B07 CT光励起によるジアニルアセナフテンジオールの脱ラセミ化反応（北大院理）○市岡浩司、樋口博紀、河合英敏、藤原憲秀、鈴木孝紀
- B08 ヒドリンドセンを軸分子としたロタキサン構造のテンプレート合成（北大院理）○梅原健志、酒井亜紀、河合英敏、藤原憲秀、辻 孝、鈴木孝紀
- B09 2,6-ジエチニルヒドリンドセンを基本骨格とするマクロサイクルの構築および酸化還元特性（北大院理）○元井江梨奈、高橋智子、河合英敏、藤原憲秀、辻 孝、鈴木孝紀
- B10 アルカロイド合成を目指したキラルな環状ヒドラジン誘導体の新規合成（室蘭工大）○横井 清、成田浩之、関 千草、武田新一、松山春男
- B11 1,2-ジヒドロピリジン誘導体の不斉環状付加によるアルカロイドの合成研究（室蘭工大・都立大院理）○松山春男、加藤裕司、関 千草、武田新一、押切徳子、伊与田正彦

—（13時から）—

- B12 ニヨウ化サマリウムによる中員環閉環反応(1)（北大院地球環境）○田宮寛明、佐藤裕之、松田倫幸、松田冬彦
- B13 ニヨウ化サマリウムによる中員環閉環反応(2)（北大院地球環境）○松田倫幸、田宮

寛明、佐藤裕之、松田冬彦

- B14 ニオウ化サマリウムによるエーテル環閉環反応（北大院地球環境）○石倉雅紀、田宮寛明、松田冬彦
- B15 パラジウム触媒を用いたフラバノン類から2-フェニル、および2, 4-ジフェニルクロメン類の合成（室蘭工大）○小針良仁、櫻田聖子、福井健二、星野行男
- B16 環開裂を伴う1-シロキシ-2-ビニルシクロプロパンの付加反応（北大院理）○長谷川将司、清水 忠、谷野圭持、宮下正昭
- B17 チタン触媒を用いる芳香族化合物の脱ハロゲン化反応（北大触媒セ）○郭 海卿、佐藤公彦、菅野研一郎、高橋 保
- B18 チタン触媒を用いたアルキン類のヒドロシリル化反応（北大触媒セ）○鮎 峰玉、小笠原正道、高橋 保
- B19 新規チタナシクロペンタジエンの反応（北大触媒セ）○葛葉悠一、高橋 保
- B20 パラジウムを触媒とするアルキン類とヨードベンゼン類とのカップリング反応（北大触媒セ）○黄 文迎、周 欣、菅野研一郎、高橋 保
- B21 ニッケル触媒を用いたハロプロペン酸二量化反応（北大触媒セ）○松村裕司、マーティン コトラ、高橋 保

C会場

－（9時30分から）－

- C01 バイオガスのクリーン化・高純度化(2)（北見工大・(財)ノーステック・北大院工）○堀川貴順、山田哲夫、橋本晴美、鈴木 勉、丸山敏彦、井口 學
- C02 ヒドロキシアパタイトの修飾とタンパク質吸着特性(北見工大・道工試)○佐藤 康、菅野 亨、多田清志、堀内淳一、小林正義、赤澤敏之
- C03 ビオチン化ペルオキシダーゼの位置選択的な固定化とオンチップ分析法への応用(北大院工)○山一真彦、谷 博文、石田晃彦、上舘民夫
- C04 分子集合体場における化学発光反応を利用するペルオキシダーゼの高感度検出法(北大院工)○菊地暢人、石田晃彦、谷 博文、上舘民夫
- C05 新種の真菌による溶存Mn(II)イオンの除去に対するpHおよび炭素繊維の効果(北大院工・小樽商大)○橘 英樹、遠藤真衣、金野英隆、笹木圭子
- C06 火山性白土の水質浄化特性(道工大)西村 拓、○岸 政美
- C07 二段階抽出とFI-HGAAS法を用いた胆振・噴火湾地区河川水中の砒素の分別定量(室蘭工大・住友金属テクノロジー(株))○上杉智子、中村精次、佐々木絵理、Anthony R. K. Dapaah、宮本政明、菖蒲明己
- C08 腐植物質の電気化学的分解に関する基礎的研究(北大院地球環境)○林 永波、木村智之、田中俊逸

－（13時から）－

- C09 腐植酸ミセル溶液における疎水性有機化合物の可溶化挙動(北大院地球環境・産総研環境管理)○寺島元基、福嶋正巳、田中俊逸
- C10 D(+)-グルコサミン誘導体化腐植酸の合成とその化学的特性(北大院地球環境)○伊藤直人、寺島元基、田中俊逸
- C11 ナナカマドの果実と枯れ葉の抗菌能特性(道工大)○渡辺紀元、宇多村慈志
- C12 抗インフルエンザウイルス活性を有する環状糖ペプチドの設計と評価(北大院理・静岡県立大薬)○太田尚志、藤谷直樹、三浦信明、新倉謙一、鈴木 隆、鈴木康夫、門出健次、西村紳一郎

- C13 赤外領域円二色性スペクトルによるインドール系ファイトアレキシンの絶対立体化学の決定 (北大院理) ○谷口 透、門出健次、三浦信明、西村紳一郎
- C14 大腸菌リン脂質の立体異性体組成に及ぼす培養温度の影響 (北大院水) ○藤島裕典、蒲野淑子、板橋 豊
- C15 キャピラリー電気泳動法による動植物油脂脂肪酸の分析 (北大院水) ○遠藤 忍、板橋 豊
- C16 K^+ 結合によるS-100蛋白の構造変化 (北教大旭川) ○松田禎行
- C17 相補的DNA鎖間に働く相互作用の直接測定 (室蘭工大) ○藤川絢平、日比野政裕
- D会場** (9時30分から)
- D01 プロパンハイドレートCP-MAS¹³C-NMRスペクトル (北見工大・産総研) ○木田真人、河原茂史、坂上寛敏、高橋信夫、竹谷 敏、海老沼孝郎
- D02 ホウ素を含む吸着サイト上のメチルラジカルの理論的構造解析 (旭川高専) ○高田知哉
- D03 シアノ磁性錯体におけるCNイオンの超微細結合と局所構造の解明 (北大院理) ○渡邊 亮、丸田悟朗、武田 定
- D04 水銀ルビジウム液体合金の音速と圧縮率 (北大院理・学習院理) ○増岡弘之、水野章敏、伊丹俊夫
- D05 アズレン誘導体の吸収および蛍光スペクトルへの電場効果 (北大院地球環境・日大工) ○吉沢友和、鈴鹿 敢
- D06 ポリエン誘導体の光誘起分子内電荷移動反応における外部電場効果 (北大電子研) ○中林孝和、Mohammed Wahadoszamen、太田信廣
- D07 External electric field effects on photoisomerization dynamics of polyenes (北大電子研) ○Mohammed Wahadoszamen, Takakazu Nakabayashi, Nobuhiro Ohta
- D08 ピレン連結化合物のエキシマー蛍光における電場効果とポリマー膜中での電界発光の形成 (北大院地球環境・北大電子研) ○森川武弘、中林孝和、太田信廣
- D09 CdSナノクラスター粒子の電場吸収スペクトル (北大院地球環境・北大電子研・北大触媒セ) ○小原祐樹、中林孝和、太田信廣、岩崎健太郎、鳥本 司、大谷文章
- D10 ジメチルアミノベンズニトリルの吸収および蛍光への電場効果 (北大電子研・Max Planck Institute) ○岩城裕司、Klaas A. Zachariasse、中林孝和、太田信廣
- D11 Electric field effects on excimer fluorescence of pyrene (北大院地球環境・北大電子研) ○Anjue Mane Ara, Takehiro Morikawa, Takakazu Nakabayashi, Nobuhiro Ohta
- (13時から)
- D12 α -Ag I 微結晶析出ガラスの析出条件と高イオン伝導性 (北大院理・東北大多元研) ○野崎 潔、桑田直明、河村純一、伊丹俊夫
- D13 典型的共晶系Bi-Cdの液体状態での電気抵抗と過冷却 (北大院理) ○齋藤森都、伊丹俊夫
- D14 イオン質量の著しく異なる電解質水溶液(SPT/H₂O系)の溶液化学的研究 (北大院理) ○横尾千栄、野崎 潔、伊丹俊夫
- D15 液体Li-Tl系合金の⁷Li核NMRナイトシフトと電荷移動効果 (北大院理) ○清水雄太、伊丹俊夫
- D16 1,3-ビス(n-ヘキシル)カルボジイミドのアニオン重合 (旭川高専・ノースカロライナ

州大) ○津田勝幸、Bruce M. Novak

- D17 エチレングリコールジビニルエーテル類のカチオン環化重合 (旭川高専・北大院工)
○加藤将敏、安藤めぐみ、宮嶋正熙、梅田 哲、津田勝幸、覚知豊次
- D18 ESRによる置換ポリアセチレンのシス-トランス幾何構造直接決定 (北大院工・産総研)
○宮坂淳史、曾根岳之、田畑昌祥
- D19 Rh錯体触媒による新しい色彩可変ポリマーとしてのカラムナーポリアセチレンの合成 (北大院工・産総研) ○馬渡康輝、曾根岳之、田畑昌祥、貞広嘉和
- D20 鮭白子由来DNA-CTA (CTA: セチルトリメチルアンモニウム) 複合体ファイバーの旋光強度 (千歳科技大) ○本多 渉、斎藤好孝、緒方直哉、芦高秀知
- D21 芳香族ポリイミドの湿式紡糸による耐熱性低光伝送損失ファイバーの製造 (千歳科技大) ○菅野大介、本多 渉、芦高秀知

E 会場 - (9時30分から) -

- E01 十勝産天然ゼオライト複合材料の水浄化材への応用 (北見工大) ○笹本和也、菅野 亨、多田清志、堀内淳一、小林正義
- E02 グルコースおよびセルロースからの B_4C 微結晶の合成 (北大院工) ○須藤彰紘、幅崎浩樹、金野英隆
- E03 SiCウイスキー/ムライト粒子複合セラミック多孔体の作製 (北大院工) ○中野浩志、高橋順一、嶋田志郎
- E04 水蒸気を含む雰囲気におけるTiC焼結体の高温酸化 (北大院工) ○大沼篤彦、清野 肇、高橋順一、嶋田志郎
- E05 溶液噴霧熱プラズマCVD法によるTi (C, N) 薄膜の作製 (北大院工) ○高橋昌照、高橋順一、嶋田志郎
- E06 還元窒化法による磁性半導体($Ga_{1-x}Mn_x$)Nの合成と物性 (北大院工) ○大滝信二、吉川信一、武田隆史
- E07 酸素イオン伝導性 $Nd_{9.33}(SiO_4)_6O_2$ の結晶構造解析 (北大院工) ○鱒淵友治、樋口幹雄、武田隆史、吉川信一、小平紘平
- E08 メカノケミカル活性化を利用したNbCおよび NbB_2 の空気中における燃焼合成 (北大院工) ○角田剛志、土田 猛
- E09 結晶水を含む無機化合物の昇温実験 (北教大岩見沢) ○蠣崎悌司、田牧 剛、新垣亜希、田中邦直

- (13時から) -

- E10 ペットボトルのねじ口をコネクタとして利用した分子模型の作成(2) (苫小牧高専) 山口和美、○笹村泰昭
- E11 ジルコニウムアルコキシドと膨張黒鉛を用いたZrC微粒子の合成 (北大院工) ○阿部大祐、幅崎浩樹、金野英隆
- E12 定電位アノード酸化中におけるニオブアノード酸化皮膜の構造変化 (北大院工・キャボットスーパーメタル(株)) ○長原和宏、坂入正敏、高橋英明、松本和芳、高山幸一、小田幸男
- E13 ニオブの合金化によるアノード酸化皮膜の誘電的特性の改善 (北大院工・キャボットスーパーメタル(株)) ○松尾太郎、幅崎浩樹、金野英隆、松本和芳、高山幸一、小田幸男
- E14 酸化物燃料電池の性能に与える電解質の影響 (室蘭工大) ○干場裕樹、見城忠男

E15 酸化物燃料電池酸素電極の分極特性に与える電極面積の影響(室蘭工大)○東村勝博、見城忠男

E16 レーザー微細加工法によるアルミニウム製電気化学セルの作製(北大院工)○山田雅史、坂入正敏、高橋英明

F会場

— (9時30分から) —

F01 リビングラジカル重合法を用いたグルコース修飾スターポリスチレンの合成(北大院工・北大創成・産総研)○山根 伸、鳴海 敦、佐藤敏文、加我晴生、覚知豊次

F02 二無水マンニトールの開環-環化重合によるハイパーブランチ糖鎖の合成(北大院工・北大創成・産総研)○今井知子、佐藤敏文、加我晴生、覚知豊次

F03 レボガラクトサンの熱カチオン開環重合によるハイパーブランチ多糖の合成(北大院工・北大創成・産総研)○北城喜一、今井知子、佐藤敏文、加我晴生、覚知豊次

F04 ハイパーブランチ多糖誘導体を用いた新規ゲル材料の合成(北大院工・北大創成・産総研・コスモテック(株))○佐藤敏文、酒井陽子、沈 賢徳、加我晴生、金子憲明、覚知豊次

F05 セルロース誘導体を用いた機能性ゲル材料の合成(北大院工・北大創成・産総研・コスモテック(株))○沈 賢徳、佐藤敏文、加我晴生、金子憲明、覚知豊次

F06 フェニルシリル化アルミナ表面上に新規に発現するオレフィンの水素化および異性化活性(北見工大)○佐藤 岳、杉井 武、山田洋文、射水雄三

F07 フェニルシラン修飾アルミナ表面上に新規に形成されるエチレンの吸着サイト(北見工大)○秋山信哉、杉井 武、山田洋文、射水雄三

F08 トリエチルシリル化した Al_2O_3 上でのエタノールの脱水反応(北見工大)○升光周平、小寺正芳、山田洋文、射水雄三

F09 XPSによるエチレンオキシドと3,4-エポキシ-1-ブテン合成用銀触媒の表面特性の比較(室蘭工大)○菅原陽司、松本公秀、岡田雅希、宮本政明、菖蒲明己

F10 酸化エチレン合成用銀触媒の性能と α -アルミナ担体のフッ酸処理効果(室蘭工大)○佐藤 一、岡田雅希、菖蒲明己

— (13時から) —

F11 種々カーボンブラック/シリカゲル複合担体担持ロジウム触媒上でのエチレンヒドロホルミル化(北見工大)○水野託廊、坂上寛敏、高橋信夫

F12 Pt/Y-zeolite上での水素中の低濃度一酸化炭素の酸化(北見工大)○長田 剛、坂上寛敏、高橋信夫

F13 シリカメソ多孔体を鋳型とした白金ナノ細線の大量合成(北大触媒セ)○樋口貴礼、坂本 謙、福岡 淳、市川 勝

F14 かご状マルチポルフィリン内部に浮遊したAuクラスターの設計(北大院地球環境・科技団さきがけ)○北本隆志、猪俣智彦、小西克明

F15 担持貴金属触媒を用いたシクロヘキサンの水素化分解(北大触媒セ)○郡司達也、小島綾一、福岡 淳、市川 勝

F16 バイオマス熱分解ターールの触媒炭化による電磁波シールド用結晶炭素の製造(北見工大)○宮元光守、光岡喜彦、羅 偉民、王 曉水、山田哲夫、鈴木 勉

F17 各種無担持触媒を用いるメタン分解-触媒の前駆体処理条件と活性-(北見工大)○須藤展子、山崎規孝、三田真吾、岡崎文保、多田旭男

F18 Ga-silicate, Ga/ZSM-5触媒表面のXPSによる状態分析(室蘭工大)○千田卓也、上道

芳夫、宮本政明、菖蒲明己

F19 炭化水素を還元剤とするNO選択接触還元反応ー白金リン酸アルミニウム触媒の活性
ー（北見工大）○篠田 潤、関 雅志、藤井竜太、岡崎文保、多田旭男

F20 炭化水素を還元剤とするNO選択接触還元反応ーアルミナ触媒における炭化水素種の
影響ー（北見工大）○井上 智、関 雅志、藤井竜太、岡崎文保、多田旭男

支部総会 ー（15時15分から）ー

特別講演 ー（15時30分から）ー

1. 21世紀の生命科学をリードする化学生物学(Chemical Biology)（北大院理）
西村紳一郎

2. 水素誘起アモルファス化（北見工大）青木 清

参加登録費 主催・共催学協会員 1,500円、主催・共催学協会学生会員 800円
非会員一般 2,000円、会員外学生 1,000円

懇親会 7月19日（土）18時30分より

会場：オホーツクピアファクトリー（北見市山下町2丁目）

会費：4,000円

参加登録予約申込方法 下記申込先へ氏名、所属、連絡先をお知らせ下さい。
申込用紙をお送りします。

申込先 060-8628 札幌市北区北13条西8丁目

北海道大学大学院工学研究科 分子化学専攻内

日本化学会北海道支部 宮浦 憲夫

事務局 林 TEL/FAX(011)706-6560 E-MAIL:csjh@nifty.com